

2025年4月7日

お客さま各位

水戸証券株式会社
投資顧問部

リバランス実施の背景

1. TAA 実施に関して

- ・ 4月3日（木）の臨時投資政策会議において、投資判断の一部を変更させていただきました。これまでの資産配分比率に占める国内株式の割合を引き上げることといたします。
- ・ TAAは、相場環境見通しに基づき資産配分を変更するものです。
- ・ 以下、その背景につきご案内申し上げます。

2. TAA 実施の背景

<国内株式> 「中立」→「やや強気」

- ・ 国内株式相場は、米トランプ政権の関税政策への警戒や、米国景気に対する懸念の高まり等を背景に、3月下旬以降、急落しました。米国時間4月2日には相互関税の内容が発表され、想定よりも厳しい内容との見方から、株価は一段安となりました。
- ・ 米国の関税政策については引き続き警戒ムードが続きそうですが、4月2日に内容が明らかになったことで、ある程度織り込める状況になったと思われることや、関税引き下げに向けた交渉が始まる可能性もあることから、次第に冷静さを取り戻すと考えます。
- ・ 足もとの株価急落を受けて、PER（株価収益率）やPBR（株価純資産倍率）、予想配当利回り等でみた割安感は強まりました。
- ・ 米関税政策により景気懸念がさらに深まる場合は、日銀の追加利上げ観測が後退すると思われれます。また、夏の参院選に向けて政策期待が高まる可能性もあり、その場合は、プラス要因になり得ると考えます。

このような最近の投資環境を踏まえ、国内株式の投資判断を変更することといたしました。

以 上